

LFD-AD1

LED FOG DAYLIGHT ADAPTER

この度は弊社製品<LFD-AD1>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品はLFDの機能を拡張させるアダプターです。本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。
★本文では<LFD-AD1>を<AD1>と略して表示しております。

【製品の特徴】 このアダプターを使用することにより、下記機能が有効になります。
▲ **注意** ストロボ機能を利用するか、デイルイト停止機能を利用するかを決定してから配線をおこなって下さい。

- ★**ストロボ機能** *この機能を選択した場合、デイルイト停止機能は作動しません。デイルイト作動中にスイッチをONさせると、デイルイトがフラッシングします。
- ★**デイルイト停止機能** *この機能を選択した場合、ストロボ機能は作動しません。デイルイトの作動・停止をスイッチによりおこなえます。
- ★**デイルイト状態確認機能**
デイルイトの点灯・点滅状態が目で確認出来ます。

お願い！ 本製品は性能向上などの理由により取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合はお手数ですが当社ホームページを閲覧のうえ、最新版の取り扱い説明書を参考に取付作業、調整をおこなって下さい。

▲ **危険** この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される差し迫った危険な状況を示します

- 本製品および付属品は確実に固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取り付けしないでください。運転に支障をきたし事故の原因となります。
- 本製品の装着により車両に異常が出たままの状態で行くと、予期せぬトラブルを誘発するばかりでなく、事故を招く可能性があります。性能が損なわれている場合は専門業者に点検、整備を行ってください。
- 本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。加工・分解・改造等の形跡が見られた場合、クレーム・修理の対象外とさせていただきます。
- エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。必ず各部品の温度が下がってから作業 をはじめてください。

▲ **警告** この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します

- 本製品は車両電源がDC12V車用です。12V/24V兼用車または、24V車には使用しないで下さい火災の原因となります。
- 本製品の取り付け時は使用しない配線などは絶縁テープを巻くなどして必ず絶縁対策を行って下さい。ショートなどにより火災、電装品、エンジンの破損の原因となります。
- カブラーを外す場合には無理にハーネスは引っ張らず、必ずカブラーを持って取り外して下さい。ハーネスが破損すると、ショートなどにより火災、電装品の破損、焼損の原因となります。また製品の故障の原因となります。

▲ **注意** この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、物質損害を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します。

- 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損、紛失しないように大切に保管してください。弊社では、取り付け作業による物的損害の責任を負うことが出来ませんので慎重に作業を行ってください。
- 本製品は精密部品ですのでハーネスの取り回しで強力な信号、ノイズの発生しやすい箇所は避けてください。誤作動する恐れがあります。
- 本製品に付属するハーネスは耐熱部品ではありませんので高温部を通す場合は必ず熱対策をおこなってください。

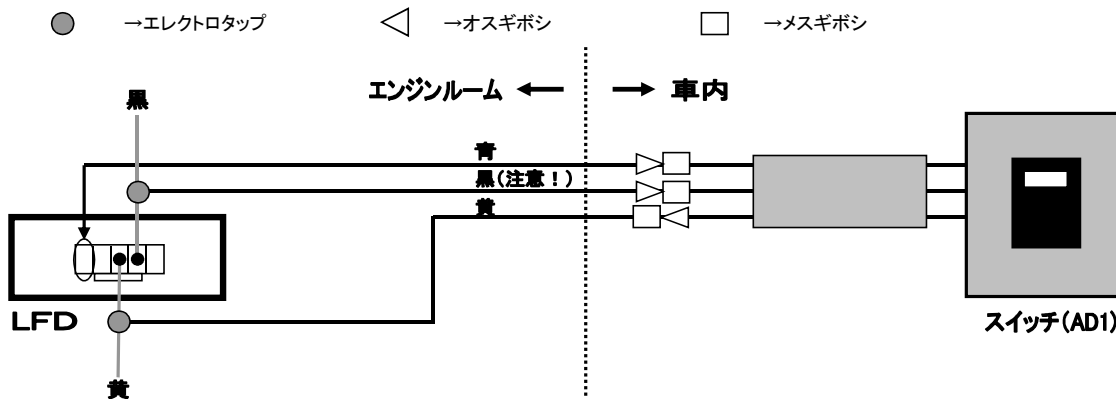
<付属品> ●スイッチ×1個 ●接続ハーネス×1個
●タイラップバンド×4本 ●エレクトロタップ×2個 ●両面テープ×1枚 ●オスギボシ&スリーブ×1個 ●メスギボシ&スリーブ×1個

<取り付け方法>

- ▲ **注意** ◎LFD専用アダプターです。
- ◎取付作業には配線加工をしますので圧着ベンチ、絶縁テープ等が必要です。
*誤配線・接触不良等による本体破損はクレームの対象にはなりませんので慎重に取り付けてください。
- ◎ヘッドライト・バンパー等はずして作業したほうがスムーズに取り付けがおこなえる場合があります。判断してから作業をおこなって下さい。
*取り外し方などはディーラー、専門業者に問い合わせてください
- ◎ハーネス類は運転の妨げにならないようまとめて本体を固定して下さい。

【配線方法1】

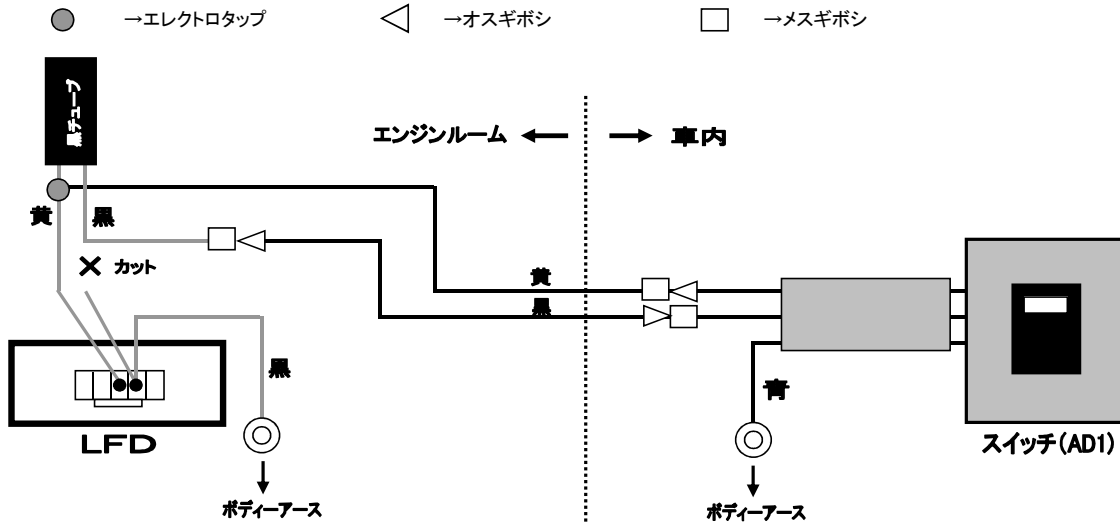
●ストロボ機能を作動させる場合
必ずLFDの取り付けを完了させ、動作確認後にAD1の取り付けをおこなって下さい。



- ①LFDのカブラーの空き部分にAD1の青線の端子を差し込みます。(端子には上下方向があります。他の端子の差し方にならない、差し込んで下さい)
- ②LFDの黄色線へAD1の黄色線をエレクトロタップを使用し接続します。
- ③LFDの黒色線へAD1の黒色線をエレクトロタップを使用し接続します。
- ▲ **注意** 黒線はLFD本体より20cm以内の場所に接続して下さい。離れた場所へ接続した場合は正常に作動しない場合があります。
- ④スイッチステーにスイッチを通して、両面テープにて固定して下さい。

【配線方法2】

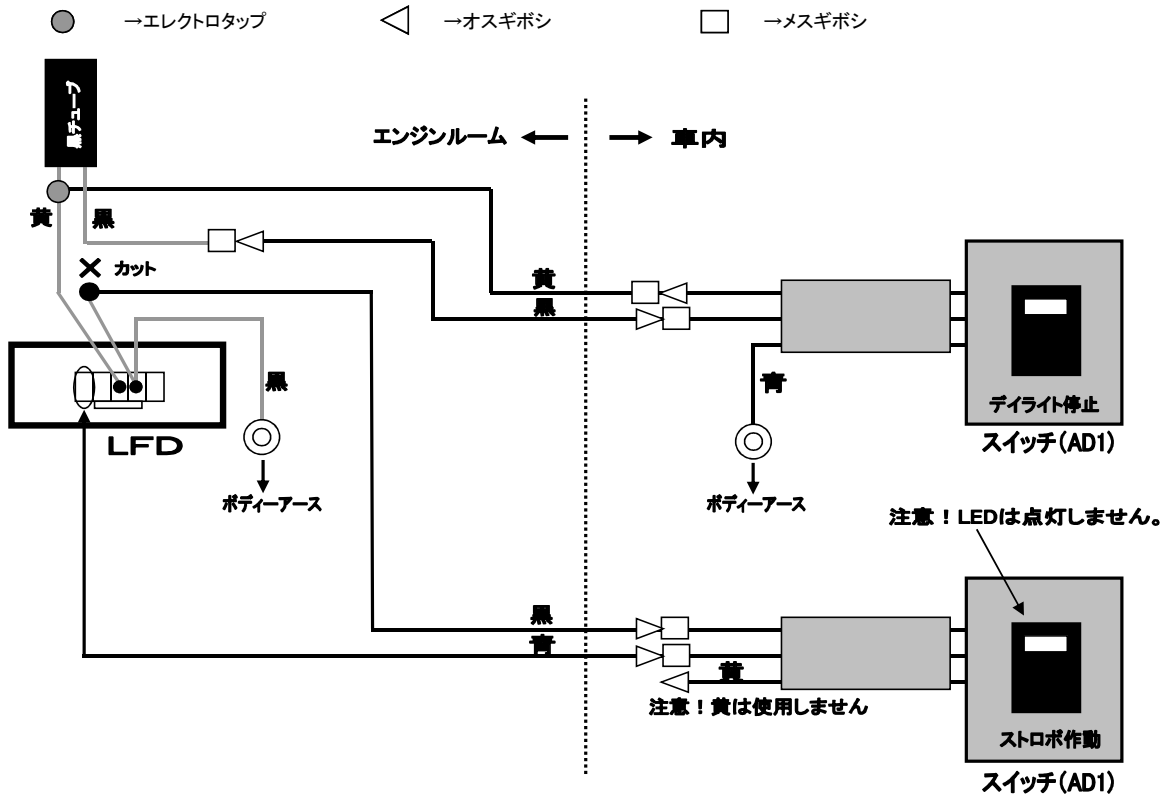
●デイルイト停止機能を作動させる場合
必ずLDFの取り付けを完了させ、動作確認後にAD1取り付けをおこなってください。



- ①LDFの黒線（チューブに入っている側の配線）をカットし、オス・メスギボシを使用してAD1の黒線へ接続して下さい。
*注意！チューブに入っていない側の黒線はボディーアースへ接続したままにしておいて下さい。
- ②LDFの黄色線へAD1の黄色線をエレクトロタップを使用し接続して下さい。
- ③スイッチステーにスイッチを通して、両面テープにて固定して下さい。
- ④AD1の青線を確実にボディーアースして下さい。

【配線方法3】

●スイッチを2個使用し、ストロボ機能とデイルイト停止機能をおこなう時
* 作動確認LEDはデイルイト停止スイッチ側での確認しか出来なくなります（ストロボ作動スイッチ側のLEDは点灯しません）
* ストロボ側の黄線は使用しません。テーピングして下さい。
* ストロボ側の黒線はLDF本体より20cm以内の場所に接続して下さい。



【作動確認】

★取り付けが終了したら、下記の要領で作動確認をおこなってください。

★デイルイト表示機能の確認

エンジンを始動し、デイルイトを点灯させた時、スイッチのLEDが点灯するか？確認して下さい。

★ストロボ機能の確認（ストロボ機能にて配線した場合）

デイルイト作動状態にてスイッチをONにさせて下さい。

- デイルイトがフラッシュするか？確認して下さい。（この時スイッチ側のLEDも点滅します）

⚠ **注意** ●この機能はデモンストレーション用です。公道では使用しないで下さい。

★デイルイト停止機能の確認（デイルイト停止機能にて配線した場合）

スイッチのオン・オフによって、デイルイトが作動・停止するか？確認して下さい。

★正常作動しない場合は？

- 配線の接触等を再確認して下さい。
- 黒線の接続位置がLDF本体より20cm以内の位置か？確認してください。